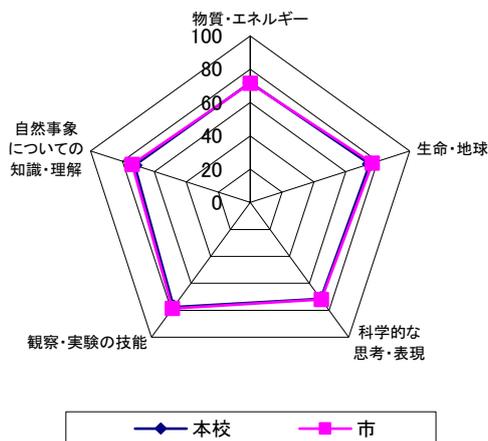


宇都宮市立桜小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	72.0	71.6	67.4
	生命・地球	74.9	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	71.5	72.1	68.8
	観察・実験の技能	77.7	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	72.4	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○水溶液の性質については、全ての設問で市の平均を上回っている。 ●もののとけ方については、メスシリンダーでの水のはかり方や、正しいろ過の仕方を問う設問での正答率が、市の平均を下回っている。	・観察・実験の技能を高めるため、実際の体験活動を多く取り入れた学習の工夫を行っていく。また、実験結果にばかりとられず、「予想・実験・考察」の流れに重点を置きながら、引き続き指導を行っていきたい。
生命・地球	○唾液の働きを問う設問については、市の平均を上回っている。 ●植物のつくりとはたらき、生物とかんきょうでは、正答率が市の平均を下回った。また、太陽と月の位置関係と、月の見え方を問う設問も、市の平均を下回り、正答率は76.4%であった。	・学習内容に関する動画や画像を利用するなど、引き続き、関心が高められるような資料を活用していきたい。 ・月の位置関係については、具体物や教具を活用して理解を高めていく。